

令和 8 年度 第 1 回 苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時: 令和 8 年 7 月 15 日(水) 15:00～15:40

会 場: 苫小牧市役所第 2 庁舎 2 階北会議室

出席者

- **出席委員(6 名):** 蓑島会長、明村副会長、菊地委員、種石委員、佐藤委員、五十嵐委員
- **欠席委員(3 名):** 保坂委員、中村委員、野村委員
- **事務局(教育委員会・美術博物館):** 生涯学習課: 田中課長、齊藤課長補佐、野水主査、山上主事 美術博物館: 藤原館長、岩波主任学芸員、佐藤主任学芸員

1. 開会・会長挨拶

生涯学習課長より、委員 9 名のうち 6 名が出席し、定足数(2 分の 1 以上)を満たし本会議が成立している旨が報告され、開会した。続いて蓑島会長より挨拶が行われた。

2. 報告

(1) 苫小牧市字勇払地区弁天海岸発見の丸木舟について

- 令和 3 年に発見された 2 艘の丸木舟の保存処理が完了し、国立アイヌ民族博物館の収蔵庫へ搬入された。
- 令和 8 年 6 月に新たに発見された部材(舷側板・船底)についても、権利移譲および埋蔵文化財発見届の手続きを完了した。

3. 議事

(1) 苫小牧市指定有形文化財の推薦書の確認について

事務局より「勇払地蔵尊」の市指定有形文化財(歴史資料)への推薦案が説明され、以下の質疑応答が行われた。

- **指定カテゴリーの妥当性について**：委員より、「有形民俗文化財」としての指定ではなく、通常の「有形文化財」の指定でよいのかという指摘があった。
⇒ **事務局回答**：他事例(勇払恵比寿神社納品等)との整合性を含め、教育委員会議への諮問に向けて指定カテゴリー(種別)を再検討・調整することとした。
- **調査および構造について**：石材産地や作者に関する調査予定と、地蔵尊の下に遺骨等の埋葬があるか質問があった。
⇒ **事務局回答**：現時点で詳細調査の実施は不透明。また、地蔵尊の下に遺骨はない。

【審議結果】指定種別の再検討を行うことを前提に、推薦の進め方について承認された。

(2) 今後のスケジュールについて

令和8年9月に教育委員会議へ推薦、12月に諮問・答申案の精査、令和9年3月に答申を行う予定が示された。

4. その他

(1) 旧山下邸の国登録有形文化財登録について

事務局より、旧山下邸の国登録手続きの現況について口頭で報告がなされた。

5. 閉会

全ての議事を終了し、閉会した。